

## 大会規則および選手注意事項

本大会は、2023年度(一財)日本陸上競技連盟規則によって行う。

1. 練習場は自由広場、グリーン広場とし、係員の指示に従って練習すること。ただし、投てき種目の練習は禁止とする。

2. 招集については以下のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始25分前	競技開始15分前
跳躍	競技開始40分前	競技開始30分前
投てき	競技開始40分前	競技開始30分前

(1)招集所は、グリーン広場付近に設置する。

(2)招集開始および完了時刻は右記のとおりとする。

(3)選手は、当該種目の招集時刻が来たら、選手招集所に用意された出場選手一覧に、第1回目のチェック(自分の番号を○で囲む)を招集完了時刻5分前までに行う。

(4)第1回目のチェックを終えた選手は、招集完了時刻5分前に招集所の席で待機し、競技役員による最終点呼を受ける。

3. 競技場は全天候舗装であるので、スパイクピンは9mm以下とする。ただし、走高跳およびジャベリックスローは12mm以下とする。
4. 競技用具の持ち込みは、競技前に必ず検定を受けなければならない。
5. アスリートビブスは必ずユニフォームの胸背部に確実に付けること。ただし、走高跳と棒高跳と走幅跳については胸背部のどちらか一方でよい。
6. ユニフォームの上着の端は、ランニングパンツ等の内側に必ず入れること。
7. セパレートレーンで行われる競技では、決勝戦通過後は自分のレーン(曲走路)を走り、他走者の邪魔をしないこと。
8. トラック種目は、予選、決勝を行う。走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ジャベリックスローは、3回試技を行い上位8名で残り3回の試技を行う。
9. 走高跳・棒高跳びのバーの上げ方は下記の通りとする。

<走高跳>

男子(練習1m25)30-35-40-45-50-55 以後3cmずつ上げる。

女子(練習1m05)10-15-20-25-30 以後3cmずつ上げる。

<棒高跳>

男子(練習2m00)2m00-20-40-60 以後は10cmずつ上げる。

女子(練習1m80)1m80-2m00-20 以後は10cmずつ上げる。

◎特殊条件によって変更するバーの上げ方は審判長が決める。

10. ハードルの高さは女子(76.2cm、8.5m)、男子(99.0cm、9.14m)とする。また砲丸投の重さは、女子は2.721kg、男子は5kgとする。また円盤投の重さは、男子は1.5kg、女子は1.0kgとする。ジャベリックスローの重さは、男女とも300gとする。
11. 本競技場は、7時から8時30分までとする。芝生での練習は7時40分までとし、7時40分以降は円盤投、ジャベリックスローの練習のみ使用できる。これ以外は補助競技場で行うこと。
12. 発病、負傷に対しては応急処置のみ行う。
13. 都道府県代表枠決定種目で、1位になった学校の監督は、本部までU16大会参加申し込み書を小田川(出雲一中)まで取りにくること